

取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名：株式会社アマダ	所在地：神奈川県伊勢原市
社員数：約 2,500 名	業種：製造業

取組の目的：

年次有給休暇を含めた休暇取得の促進とノー残業デーの浸透。

取組の概要：

〈現在の取組〉

- 年次有給休暇の取得率が低く、取りにくいという社員の声があったことから、計画的付与日、休暇取得奨励日を設けた。
- 入社後 10 年ごとの節目と 60 歳を迎えた年にリフレッシュ休暇、子供の参観日出席のための参観日休暇の制度（土曜日が所定休日のため）を設け、該当社員のほとんどが取得している。
- 本来の育児休業制度とは別に、失効した年次有給休暇を育児に参加する労働者が取得できるという休暇制度（有給）を設けており、利用されている。
- ノー残業デーを木曜日、土曜日に設定しているが、なかなか浸透しないので、終業時刻に放送して、退社を呼びかけている。
- 事情により正社員としての勤務が困難となった場合の受皿、有期契約の労働者の無期契約への転換の受皿として、地域限定型、職務限定型の社員制度を設けている。

〈今後の取組〉

- 上記の取組をさらに浸透させていく。また、時間外労働の状況によっては、朝方の働き方について検討したい（過去に一部の部署で実施したことあり）。

現状とこれまでの取組の効果：

- 年次有給休暇の取得率については、約 10% 増加した。
- ノー残業デーが浸透してきており、早く退社する労働者が増えていることを実感している。

(H27.2)